

# たまき社協だより

2013.8  
No.47

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会  
〒519-0433 玉城町勝田4876-1  
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916  
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>  
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

## たまきの元気人。喫茶 白ゆり(玉城町母子寡婦福祉会)のみなさん



### 笑い声絶えぬ憩いの場

みなさんは、玉城町保健福祉会館の中にある『喫茶 白ゆり』をご存知ですか。この喫茶は、平成9年の会館と同時に、オーブンしたものです。

運営は、当時から「玉城町母子寡婦福祉会」の方々が担っています。

喫茶の名前は、全国母子会の会歌から馴染みのある言葉として「白ゆり」と付けられました。

毎日、朝9時30分の開店から常連客の方が集まり、賑やかになります。特に、最近では、常連グループも出来、町民のみなさんの憩いの場として活用されています。

「一日一回は、ここに来んと」「家におつても声を出すことない。ここに来て話するのがええわ。」と来られる方々の声。売り上げの一部は、社会福祉協議会に寄附され、地域に還元されています。

営業時間は、

9時30分～16時00分

定休はなく、お盆・年末年始などが休

みとなります。いつも笑顔でお客さんを迎えます。

会員さんも募集しております。どうぞ、お立ち寄りください。

玉城町高齢化率(平成25年6月末現在) 23.1% (65歳以上人口 3,595人)

※この広報は、共同募金配分金事業によって発行しています

# 平成24年度 社協事業報告

## 事業方針に基づく進捗状況

地域で暮らす誰もが、安心して、充実した生活を送ることができるよう、地域の抱える課題に対し住民視点で、その解決に取り組んできました。



下外城田三郷区・昼田地区避難所運営ゲームに取り組む様子

地域福祉分野では、防災・災害に強いまちをめざしボランティア団体ができ、多方面から意志を結集し活動を始めました。特に今年のテーマを子供

地区の災害時の対応として活動を行いました。また、あわせて健康しあわせ委員等のボランティア加入もあり、

実した生活を送ることができるよう、地域の抱える課題に対し住民視点で、その解決に取り組んできました。

地域福祉分野では、防災・災害に強いまちをめざしボランティア団体ができ、多方面から意志を結集し活動を始めました。特に今年のテーマを子供地区の災害時の対応として活動を行いました。また、あわせて健康しあわせ委員等のボランティア加入もあり、

行政関係団体等との連携も進める一方で、組織の高齢化により団体そのものの存続が危ぶまれる等、課題もあります。

在宅介護分野では、本年度介護報酬が改定され、高齢者介護利用者ニーズを尊重し、サービス時間の拡大を図ると共に、通所介護、訪問介護において一段の努力をしました。同様に生活介護事業夢工房たまきは、障害者支援サービスの向上により利用者が増加しています。

今回の号では、平成24年度の事業内容を次のように、報告します。

## ①社協会員

会員区分	口数	会費
個人会員 (300円/口)	1,836	550,800円
団体会員 (5,000円/口)	72	360,000円
賛助会員 (10,000円/口)	28	280,000円
計	1,936	1,190,800円

## ②チャリティーバザーの開催 (今回から実行委員会を発足させました)

金額	87,261円

## ◆法人運営 社会福祉協議会会員制度等の推進

### 福祉5団体の会員状況

団体名	会員数
玉城町老人クラブ連合会	1778名
玉城町身体障害者福祉会	172名
玉城町遺族会	304名
玉城町母子寡婦福祉会	33名
玉城町手をつなぐ親の会	23名

## 各種関係機関・団体との連携強化 ②福祉協力員の連携 24名。

- ①『元気ですたまきまつり』の開催  
6月3日に開催
- ②普及宣伝
  - ・広報「たまき社協だより」発行
  - ・ホームページを見直し更新
  - ・ブログフェイスブック等の活用
- ③『元気ですたまきまつり』の開催  
年11回
- ④ホツとサークル（介護者のつどい）  
年4回
- ⑤ぴんの会（独居高齢者支援事業）  
年11回
- ⑥楽笑会（地域型お楽しみ会）10月21日開催  
下外城田小学校区
- ⑦歳末援護事業（まごころ弁当）  
配食数131食

## 【障がい者支援事業】 子育てサロン（カラフルらいおん） 年11回

## 【社会参加事業】 はっぴいサークル 年6回 延べ 160名

## 積極的に社会参加できる環境づくり （社会参加事業）

### ①元気ですたまき事業

#### ・委員会の運営 年7回

#### ・あいさつ強化運動（毎月第3火曜日）11か所

#### 参加人数 434名

#### ・元気ですたまきオリジナル体操 推進

#### ・あいさつウォーキングの活動展開 しあわせ委員会と協働で今年度 2回実施。

#### ②ほのぼの便（安否確認） ③給食サービス 年19回

#### ④6月3日（日） 参加者55名 ⑤平成25年3月31日（日）

#### 参加者149名

## ◆地域福祉事業の推進 身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくり（生活支援事業） 【高齢者支援事業】

### ①高齢者サロン 町内7か所 ②ほのぼの便（安否確認） ③給食サービス 年19回

#### 延べ475食

## 住民ニーズに沿った活動や計画づくり

### (総合福祉事業)

①福祉用具等貸出事業	年45件
②ふくしを支える勉強会	11月18日開催
参加者	52名
③地域福祉活動計画の推進	
②福祉協力校の育成及び活動への助成	384,00円 (小中学校5校)
③福祉作文の募集	

### ◆ボランティア活動及び福祉教育の推進

### ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

登録者 444名  
登録団体 24団体

### ①ボランティアセンター活動の充実

- ・ボランティアセンター会議の開催
- ・ボランティア学び直し講座
- （県生涯学習センターと共催）

平成25年1月28日開催  
参加者 41名

### 児童生徒の福祉意識の高揚

#### ①福祉体験教室の開催

8月2日 参加者 36名  
8月7日 参加者 20名

10月7日 参加者 4名

#### ②ICTふるさと元気事業の運営

外出支援・見守りサービス  
384,00円 (小中学校5校)

#### ③福祉作文の募集

## ◆相談・援助事業

### 福祉相談機能の充実強化

①心配ごと相談 19件  
②窓口総合相談 38件

### 低所得者世帯の生活安定事業

相談件数 32件  
生活福祉資金貸付 21件  
町世帯更生資金貸付 14件

### 相談件数 32件

生活福祉資金貸付 21件  
町世帯更生資金貸付 14件

### 福祉サービス利用に関する相談援助事業

①地域福祉権利擁護事業  
利用者 5名

### ◆受託事業の運営

#### バス事業

①研修バス  
利用件数 293件

②福祉バス  
延べ利用人数 2,503名

③元気バス  
登録人数 1,155名 延べ利用人

④すまいるバス (介護予防事業参加者への移動支援バス)  
延べ利用 人数 1,542名

登録利用人数 11名  
登録利用人数 11名

②ふれあい福祉サービス (ちょこっと有償ボランティア)

登録利用人数 11名  
登録利用人数 11名

①ふれあい福祉サービス (ちょこっと有償ボランティア)

登録利用人数 11名  
登録利用人数 11名

#### 各種福祉団体事業の運営

外出支援・見守りサービス  
384,00円 (小中学校5校)

## ◆募金活動の推進

### ・災害義援金

①東日本大震災義援金  
(日本赤十字社)  
30,942円

### ◆在宅福祉事業の運営

①居宅介護支援事業  
・ケアプラン作成  
1,739件

①要介護認定調査  
314件

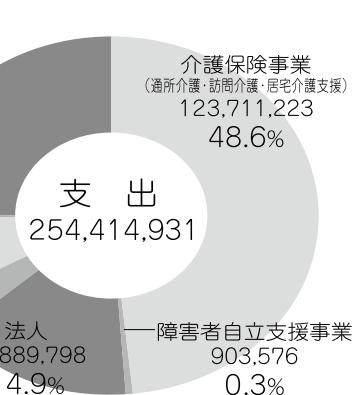
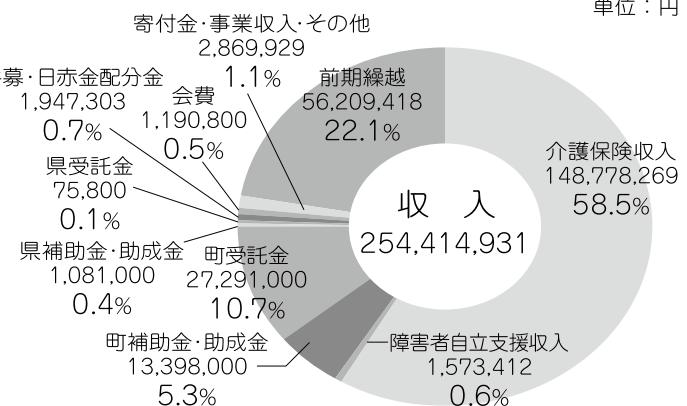
②通所介護支援事業  
延べ利用者数 10,746名

③訪問介護支援事業  
延べ利用者数 9,294名

募金の種類	期間	募金額
日赤募金	5月	1,865,070円
共同募金 歳末たすけあい募金	10月～12月	2,052,113円

## 平成24年度 一般会計収支予算

単位：円



# 元気ですたまきまつり開催

6月2日（日）、お天気も心配されましたが、10時からのオープニングを屋外で行なうことが出来、玉城中学校吹奏楽部の演奏で「元気ですたまき」の体操を始め、その後もかわいいダンスと演奏を披露していただきました。

今年度のまつりのテーマは、『愛言葉は「つながる』。ボランティアや福祉団体のみなさんの協力のもと、新しい団体の参加もあり、来場者のみなさんとの出会い・つながり、様々な福祉活動にふれる機会をつくることが出来ました。

また、東日本大震災支援を目的にチャリティービンゴを行いました。

これは、参加費で得た収益金などを被災地にお贈りする活動です。

3年目となる今回は、災害ボランティアの支援を継続している、みえ災害ボランティア支援センターに、玉城町職員組合から43,334円、今回収益金など29,250円を加え72,584円をお贈りしました。

町長から山本センター長への贈呈式も行い、東日本へみなさんの思いを託しました。

※元気ですたまきまつりは、共同募金配分金によつて、開催されています。



オープニング  
玉城中学校吹奏楽部の演奏とダンス



チャリティービンゴでの収益を町長(右)  
から山本センター長(左)へ贈呈



生活福祉課の健康チェックコーナー



クイズラリーでの  
ふれあいジャンケンコーナー(肩たたき)



町内企業の関係者によるジャズ演奏



子育て支援センターの紙芝居コーナー



高齢者のいきいきメイクコーナー



転倒防止や非常持ち出し袋などの啓発を行なう防災ボランティアコーナー



大勢の方が参加してのbingoゲーム

# 平成25年度 元気ですたまきまつり 民生委員質問コーナー

民生・児童委員協議会では、非常食の試食や災害に関する質問コーナーを今回も設け、200人を超える方々にお答えいただきました。結果からは、万が一の備えに対して、必要だと思いながら実行出来ていない方々が多いように思いました。

(単位:人)



非常食試食の様子



民生アンケート

項目	はい	いいえ	合計
① 自分の地区的避難場所を知っていますか。	71.1% 155	28.9% 63	218
② 災害時の非常持ち出し袋の用意と点検ができますか。	47.9% 101	52.1% 110	211
③ 家族との連絡が取れるようになっていますか。	80.1% 169	19.9% 42	211
④ 自宅の耐震診断ができるていますか。	35.8% 73	64.2% 131	204
⑤ 家具の転倒防止が、きちんとされていますか。	35.3% 73	64.7% 134	207
⑥ となり近所の人と会話していますか。 (あいさつ、日常会話など)	95.7% 198	4.3% 9	207

## いきいき アンケート 集計

これは、元気ですたまき委員会が、まつりの会場内で来場者に行った聞き取りアンケートです。よりよい福祉推進のために、皆さんの現状をお伺いしました。

### 玉城町が好きな理由は? (主なもの)

- ・あいさつをみんながしてくれる。
- ・自然がいっぱい。食べ物がおいしい。
- ・子育て支援等福祉が充実している。

- A…年少年齢(14歳以下)  
B…生産年齢(15~64歳)  
C…前期高齢者(65~74歳)  
D…後期高齢者(75歳以上)

	知らない人にもあいさつをしますか		
	している	あまりしていない	無記入
A	16	3	0
B	39	9	3
C	18	4	0
D	25	2	0

	あいさつ強化デーを知っていますか			地区の民生委員さんを知っていますか		
	知っている	知らない	無記入	知っている	知らない	無記入
A	10	9	0	4	15	0
B	28	20	3	23	27	1
C	16	6	0	19	2	1
D	15	11	1	24	3	0

	元気バスが誰でも使えること知っていますか			健康に自信がありますか		
	知っている	知らない	無記入	ある	ない	無記入
A	5	14	0	15	4	0
B	28	19	4	27	19	5
C	22	0	0	12	6	4
D	25	1	1	17	9	1

	玉城町が好きですか				地区の行事に参加していますか		
	好き	どちらでもない	嫌い	無記入	参加している	参加していない	無記入
A	17	2	0	0	14	5	0
B	49	2	0	0	41	10	0
C	22	0	0	0	19	3	0
D	27	0	0	0	20	6	1

	隣近所とのコミュニケーションがとれていますか				隣近所に相談する人はいますか		
	とれている	あいさつ程度	あまりとれていない	無記入	いる	いない	無記入
A	6	12	1	0	17	2	0
B	42	9	0	0	40	9	2
C	21	1	0	0	21	1	0
D	23	1	2	1	24	3	0



# 三重県

## 民生委員会長表彰

5月12日、県総合文化センターで「第12回三重県民生委員児童委員大会」が行われ、松田敏己 民生委員（栄町）と中川正彦民生委員（勝田町）が会長表彰を授与されました。

長年、地域の相談員としての功績が称えられたものです。



中川民生委員



松田民生委員

これは、県社会福祉協議会の災害ネットワーク推進支援事業を受け、災害予防対策として災害弱者となりうる75歳以上のお一人暮らしの方を対象に防災啓発グッズの配布を行つたものです。

災害に対する要援護者自身の意識の向上を図ることを目的に、民生委員が一人ひとり丁寧に説明しながら配布していただきました。

配布内容は、

### ①防災カード

災害対策として、事前に確認しておきたい事項を書き込むものです。確認しながら、記入することによって意識付けのきっかけとしてもられます。

また、裏面には持ち出し品の準備について掲載しています。

### ②簡易スリッパ

災害時の足元の安全のために。 災害時、居場所を知らせるために。

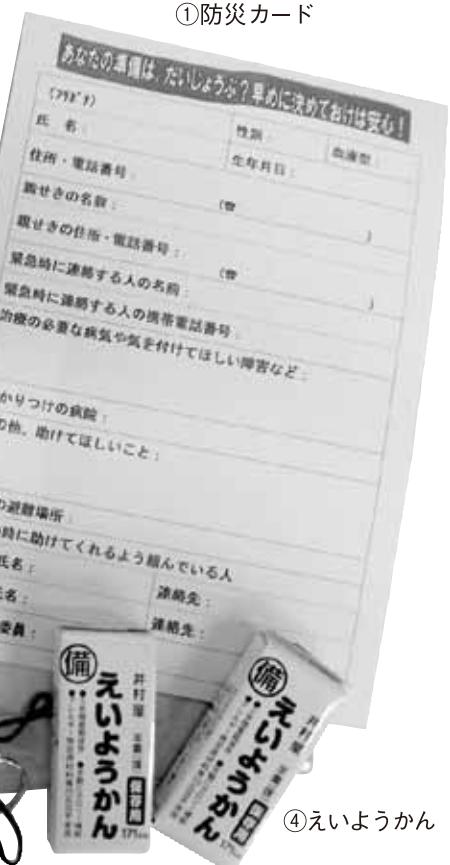
### ③緊急用ホイッスル

災害時、命を守ることによって、地域の助け合いにつながつていきます。

まず、一人ひとりが自分の命を守ることによって、地域の助け合いにつながつていきます。

## 要援護者防災啓発グッズ「備えトコ」を配布しました

①防災カード



②簡易スリッパ



④えいようかん

③緊急用ホイッスル



## 日本赤十字社 玉城町分区よりお知らせ

### 日赤募金ご協力のお礼

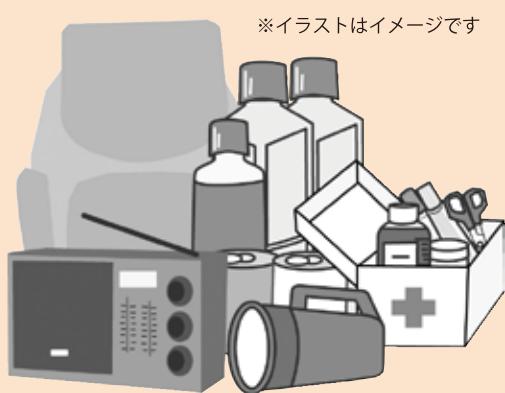
5月より区長様を通じ皆様にご協力頂きました募金は、  
**1,803,300円**（H25.6.末現在）となりました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

尚、ご協力いただいた募金は、日本赤十字社 三重県支部を通じ「災害救助活動」や「国際活動」など赤十字の活動資金に活用されるほか、今年度行う「福祉体験教室」や「社会福祉会」の事業費として町福祉活動へ交付されます。

### 被災者救護活

火災・風水害・地震、その他の自然災害により人や家屋に被害があった場合に、日本赤十字社三重県支部から見舞金・弔慰金・緊急セットなどが支給されます。

※イラストはイメージです



#### 6月の報告

弔慰金 1件  
緊急セット 1件



## 『職場体験』参加者を 募集します

福祉のお仕事体験してみませんか!?

#### 対象者

福祉の仕事に関心のある方(学生可)

#### 体験の期間

お1人2日以上10日以内

#### 体験時間

1日概ね6時間(6時間以上8時間未満)

#### 参加にあたって

参加賞は無料です。ただし、交通費、食事代などは自己負担です。なお、職場体験にかかる日当などは支給されません。

#### 【問合せ先】

三重県社会福祉協議会

職場体験担当

TEL 059-227-5160



## シルバーパートナーセンター

人材センターには、現在145人の方が登録を行い、作業の依頼を受けて活動しています。

昨年の依頼件数は、629件。活動には、草刈り・清掃などの単純作業や公共施設においての受付業務等様々な分野にわたっています。

玉城町では、高齢者の積極的な就業促進を行い、単にお金を稼ぐことではなく、活動に喜びや生きがいを感じ、健康な身体を維持していくことを目的に一定のルールの中で、センターの運営を行っています。

会員は、随時募集を行っています。特に、施設清掃や緊急雇用創出基金事業による児童館の補助を希望される方を現在募集しています。

登録制となっておりますので、詳しくは、窓口までお尋ねください。